

## 奥能登入浴支援 ライン活動報告（2024年2月2日・一部省略）

### 杉本裕美子（17:35）



入浴車の浴槽をお湯張り用にして、入浴車のシャワーと、浴槽から直接お湯を組み上げるシャワーを使い、シャワー浴で対応しました👉

（19:02）今日は、NGOの方1名も水のタンクを運んでもらうこともあり、5名で対応しました。実際の入浴支援は、在宅の方は女性で、男性は無理…とのことで杉本が対応  
特養は、施設のスタッフさん1名と杉本で対応し、脱衣場に施設のスタッフさん1名、竹下さんが入ってくださいました。

実際の介助がかなりあり、在宅であると環境も厳しいため、ガッチリ介助ができないとお役に立てません。入浴車の機械の操作や組み立て、給水の作業には男性の力も必要です👉来週以降、入浴車の扱いができる人がいないのもかなり心配です

### 勝山 祥典（20:21）



寝泊まりする環境はかなり厳しいです。寒いし床が硬い…。でも、結の方々はとても温かく活動を支えていただいています。入浴の直接支援はしていませんが、限られた人数でやろうとするなら、ダンプの運転できる人がいいかと…。

### 竹下 正（20:25）



お疲れ様です。塩尻社協の竹下です。

本日はシャワー浴だけでしたが、現地スタッフさんからの協力、情報が無いと厳しい面が有ります。また、シャワー浴だけでなく訪問入浴スタイルで行なう場合は機械の取り扱い、浴槽のセッティング、片付けなど慣れないと時間要すると思います。

ご利用様に関しましては感染症などの情報などナースさんの協力も大事かと思えます。あと水のダンプからの供給が重要なので運転含め人員配置も配慮お願い致します。

### 須山 範一（20:34）



午前はNGO結さんに希望が上がっていた個人宅に伺いシャワー浴を提供。障害のある女性の方でしたが、最近お父様を亡くされていて、辛いことが重なっていたとの事。今回の地震で1ヶ月入浴できていなかったが入れたことでとても喜んでいただきました。同居されているお母様も娘の笑顔を久しぶりに見た、とお話しされていました。

午後は、輪島市の特養ゆきわり荘に訪問しシャワー浴を提供。職員の皆さんの地震発災からの過酷な状態もお聞きしました。杉本さんと竹下さん、施設の職員の皆さんで協力しながら、17名の利用者様にご利用をいただきました。

この入浴車提供のお話ですが、NGO結様がNHKに取材され、入浴車の希望も増えそうです。

### 小池正志（21:03）



現地の皆さんお疲れ様です。大変さが伝わるレポートありがとうございました👉

明日早朝にはPT速報No.2の編集発行したいと思います！。宿泊環境が劣悪の様子、派遣される人も屈強な若い人が必要のようですね！

オペレーターも幾つかの社協に問い合わせ中です👉こちら頑張りますので、皆さんも頑張ってください。